

GC04 電池式デジタル圧力計

取扱説明書



2018.12 改訂

Rev.D

正しく安全にご使用いただくために

本器を安全に正しくご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読み下さい。取扱を誤って使用されますと故障の原因となり、障害や事故等の災害が発生することがあります。

本書の注意事項については、下記の記号により表示します。



警告

取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容について示します。



警告

1. 許容最大圧力以上の圧力を加えないで下さい。圧力エレメントが破損又は破壊し、けがや周囲を破壊する原因となります。
2. 指定外の電池・電源で使用すると、故障、火災や感電の原因となります。
3. 過大な荷重・振動・衝撃を与えないで下さい。
製品が破損又は破裂し、測定体が流出することにより、けがや周囲を破壊する原因となります。
4. 本器は防爆構造ではありません。
引火・爆発の起因となるような可燃性のガスや液体の存在する恐れのある危険な場所には使用しないで下さい。
5. 使用温度範囲内でご使用下さい。
使用温度範囲外で使用されますと製品が故障又は破損し、けがや周囲を破壊する原因となります。
6. 取り付けは、取扱説明書の取付要領に従って確実に行って下さい。
7. 製品自体の分解・改造、及び新たな機能付加による改造等を行わないで下さい。尚、修理は当社にご相談下さい。
8. スイッチ類は取扱説明書の操作方法に従って、確実に行って下さい。
誤った操作は誤動作の原因となることがあります。
9. 精密な電子計器ですので、ノイズ源となるものからはできるだけ遠ざけて下さい。
※本製品の故障や誤動作が直接人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある用途に使用される場合は、あらかじめ当社にご相談下さい。

製品保証について

保証期間内(お客様納入日より1年間)の納入品が、「弊社設計または製造上の不良等」による不適合品と判断された場合、無償にて修理、あるいは適合品との交換をいたします。

但し、以下に示す事項は除外されますのであらかじめご了承ください。

- (1) 納入品がお客様自身若しくは弊社以外の第三者による分解、改造、部品交換、あるいは機能付加された場合。
- (2) 取扱説明書またはカタログに記載された事項が遵守されなかった場合。
- (3) 使用による劣化、天災、火災、その他不可抗力によるもの。
- (4) 上記を含み製品の不適合により発生した二次的損害。

尚、お客様による取扱不備の認識の有無にかかわらず、部品の変形、摩耗、焼損等明白な痕跡が認められた場合は、保証範囲より除外し、有償対象とさせていただきますのでご了承ください。

目 次

	ページ
1. はじめに	4
2. 特 長	4
3. 仕 様	5
4. 開梱・保管上の注意	7
4-1. 開梱上の注意	7
4-2. 保管上の注意	7
5. 使用方法	8
5-1. 電池交換	8
5-2. 設置方法	9
5-3. 各部の名称と機能	10
5-4. 各モードと使用方法	12
5-5. オプション	21

1.はじめに

本器は、0.25%F.S.の精度を有しています。ステンレス製のセンサは継手とレーザ溶接されており、産業用アプリケーションで様々な圧力媒体(液体、気体)を計測できます。ケース保護等級は、IP67に準拠しております。

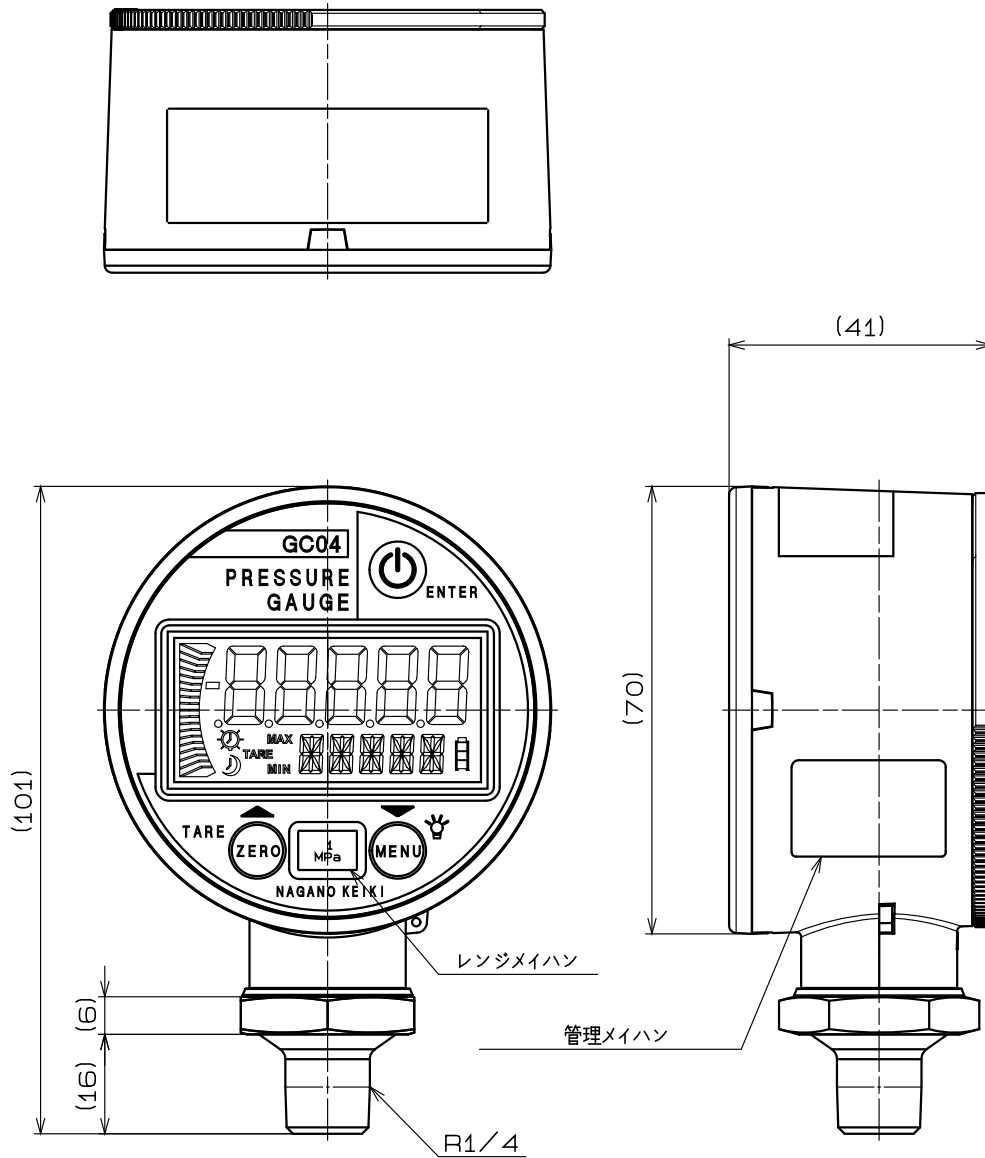
本器には電池を同梱していないため、あらかじめ単三アルカリ乾電池2本を準備していただくようお願いいたします。

2. 特長

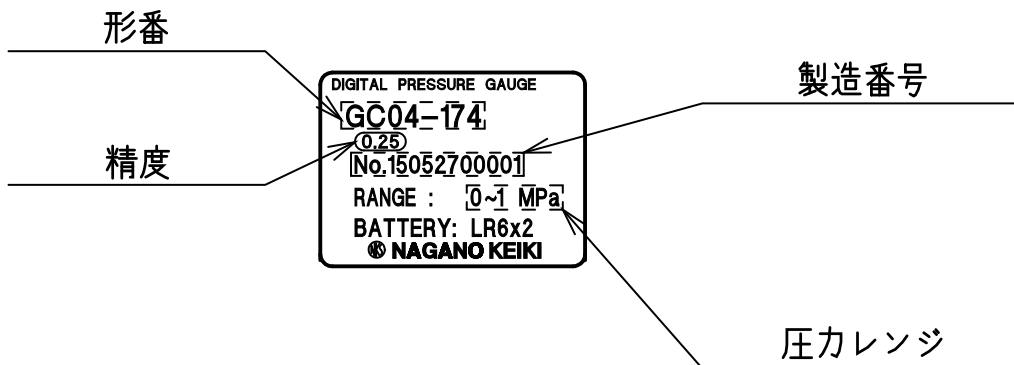
- 精度: $\pm 0.25\%F.S.$
- 5桁のLCDディスプレイ(文字サイズ12mm)
- バーグラフ表示(20セグメント)
- 9つの測定単位の選択および、ユーザ定義による単位設定が可能
- 0.3~50MPaまでのゲージ圧 10種
-0.1~2MPaまでの連成圧 5種のレンジを準備
- IP67に準拠したケース保護構造
- CE適合
- 暗所でも見やすいバックライト付き
- 幅広い用途に対応可能な多機能型

3.仕様

(1) 外観



(2) 管理メイハン



1	圧力レンジ(最大桁表示)		許容最大圧力 (フルスケール に対して)	表示精度 ※1	温度係数 (ゼロ/スパン共)
	ゲージ圧	0~0.3MPa (.3000)	2 倍	±(0.25%F.S. +1 digit)	±0.072%F.S./°C
		0~0.5MPa (.5000)			
		0~1MPa (1.0000)			
		0~2MPa (2.0000)			
		0~3.5MPa (3.500)			
		0~5MPa (5.000)			
		0~10MPa (10.000)			
		0~20MPa (20.000)			
		0~35MPa (35.00)			
	0~50MPa (50.00)	1.5 倍			
	連成	-0.1~0.2MPa (.2000)	2 倍		
		-0.1~0.3MPa (.3000)			
-0.1~0.5MPa (.5000)					
-0.1~1MPa (1.0000)					
-0.1~2MPa (2.0000)					
2	材質	接液材質	SUS630(17-4PH), SUS316L		
		ケース	PC/ABS		
3	表示周期 ※2		1秒, 0.5秒, 0.25秒 設定可能		
4	電源形式		電池式(単三アルカリ乾電池×2本)		
5	電池寿命		2000時間以上(表示周期:1秒時) ※3		
6	保護構造		IP67相当		
7	使用温度範囲 (氷結,結露なきこと)		-20~60°C		
8	保存温度範囲 (氷結,結露なきこと)		-20~60°C(電池搭載時, 参考値) -20~80°C(電池未搭載時)		
9	質量		約 150g(電池含まず)		
10	機能		表示スケールリング、ピークホールド、バックライト、 風袋引きオートゼロ(テア)		
11	オプション		保護ブーツ(黒, オレンジ)		

※1 23°Cにおいて直線性、ヒステリシス、及び繰り返し性含む(ゼロ点調整後)

※2 周辺温度が0°C以下において、設定した表示周期より遅延する場合があります。

※3 電池により変動する場合があります。

4. 開梱・保管上の注意

4-1. 開梱上の注意

開梱前に梱包の外観を確かめて下さい。

開梱の際、荷を乱暴に扱わないようご注意ください。

荷から取り出した時、誤って落下させたりすることのないよう十分広い場所で荷をといて下さい。

開梱後、本器に外傷がないか、また形式・仕様・レンジが注文通りか本器右横部の管理銘板シールを確かめて下さい。

4-2. 保管上の注意



本器の故障・損傷の原因となりますので、次のような場所に保管しないで下さい。

- 水のかかる場所
- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所
- 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)などある場所
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所
- 直射日光の当たる場所や高温の車内等

本器は電池を入れて電源がOFFの状態でも、微少な電流が消費されています。新しい電池に交換後、常に電源ONで使用した場合の電池寿命が約2000時間です。長い期間使用しない場合は、電池を取り外した状態で保管することをおすすめします。

5.使用方法



警告

- 電池交換は、ガスなど引火性物質の有る危険な場所を避け、安全な場所で行なってください。危険な場所で電池交換を行うと、電池の脱着時に発生する火花で引火爆発し、けがや物的損害の発生する恐れがあります。
- 不要になった電池は、正しく処分してください。
- 電池は取扱を誤ると発火・破裂することがあります。充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしないでください。

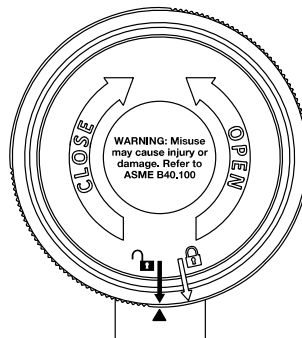


注意

- 電池交換は指定品(単三アルカリ乾電池)を使用し、＋を正しく入れてください。他の電池を使うと誤動作したり、故障の原因になります。
- 分解・改造はしないでください。

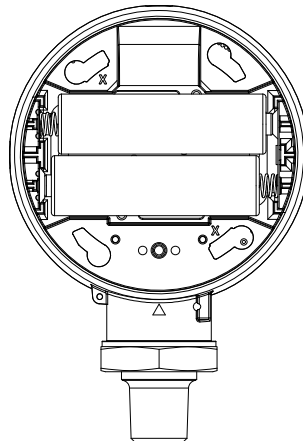
5-1.電池交換

ギザギザの付いた、本体背面にある背面カバーをつかみ、「Unlock」アイコンの矢印が三角にぴったり合うように反時計回りに回します。



まっすぐ引いてカバーを取り外し、新しい単三アルカリ乾電池と交換します。
正しい極性に合わせて電池が取り付けられていることを確認します。

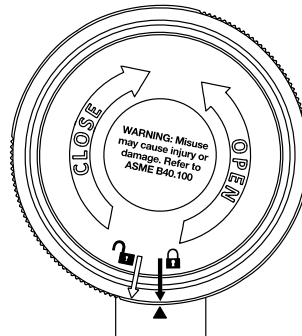
※推奨電池: LR6 Rspec[富士通製]



カバーを取り付ける場合は、「Unlock」アイコンの矢印を三角に合わせてカバーをまっすぐに押し込み、「Lock」アイコンの矢印が三角に合うまで時計回りに回します。

背面カバーを再び取り付けるとケースの内部圧力が上昇して、本体が負圧を読み取る場合がありますが、一時的な現象です。ケースの内部圧力がケースベントによって徐々に低減され改善されます。

(ほぼ1分程度で改善しますが、精度的には、5分以上経過させることをお勧めします)



5-2.設置

配管への設置には、通常27mmのスパナが必要です。






まず、本器の接続ネジ部にシールテープまたは適切なシール剤を用いて下さい。本器をプロセス接続部に接続する場合、まず手で絞め付けた後、止まった位置からスパナを使用して更に1回転程度、または、漏れ防止が達成されるまで増し締めを行なってください。

注意

- 本器の筐体は樹脂製ですので、筐体をつかんで強く締め付けたり、筐体の上に道具を置いたりすると、本器に損傷を与える可能性があります。
- 圧力ラインに取り付けの際、配管内に液体が充満した状態で取り付けないで下さい。液体は非圧縮のため、接続ネジを締めこむと高圧が発生し機器の故障となる可能性があります。既設圧力ラインへの取り付け、又は交換の際には配管接続側の液体を抜き、空気を15～20mm程度残してねじ込んでください。
- 圧力導入口に針金等を入れしないで下さい。ダイヤフラムが破損して正常な動作が得られなくなります。

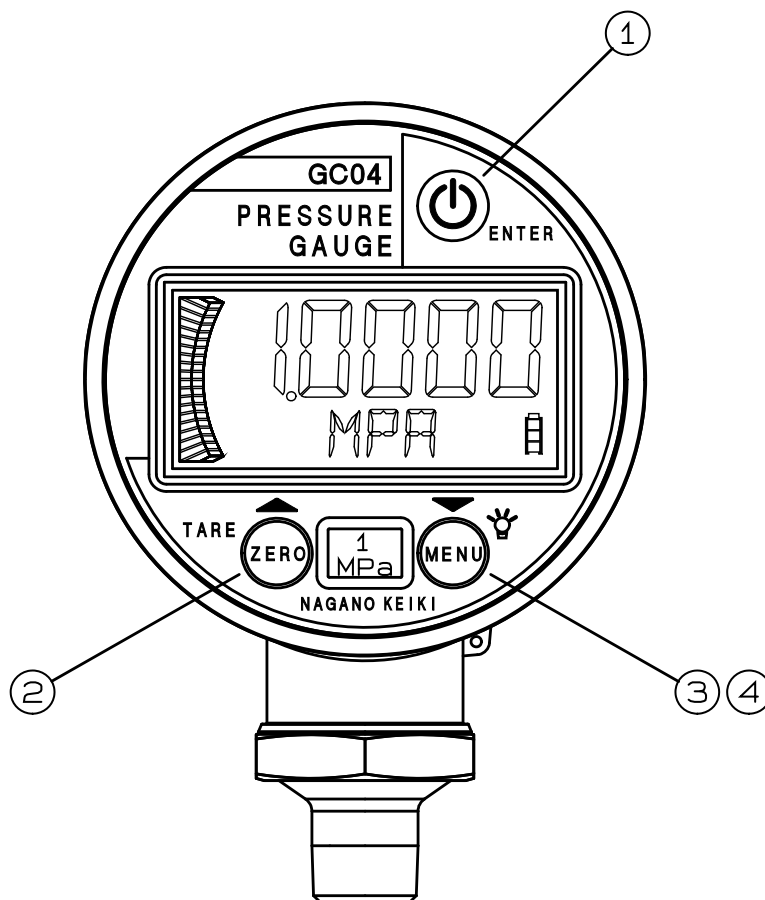
5-3.各部の名称と機能

キーパッド

- ①  : 電源オン/オフ、Enter
- ②  : ゼロ、上矢印、テア(TARE)
- ③  : メニュー選択、下矢印、バックライト
- ④ キーを押す場合
 -  : 0.5秒より短く押す
 -  : 0.5秒より長く押す

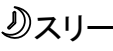
**注意**

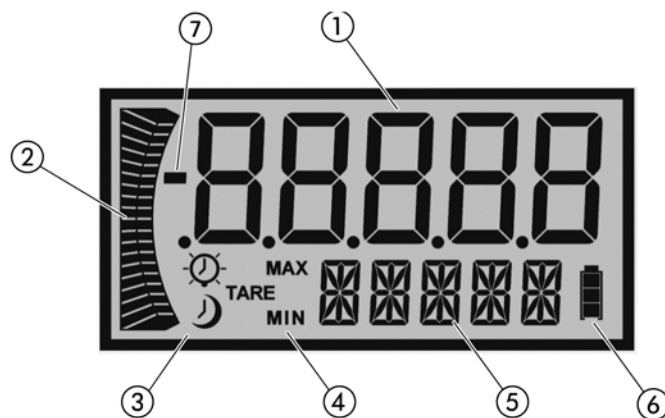
パネルに穴があく可能性があるため、鋭利なものでキーを操作しないで下さい。



LCDディスプレイ

LCD機能

- ① 圧力表示: 5桁
- ② 圧力表示バーグラフ: 20セグメント 各セグメントは5%単位で表示
- ③ スリープおよびバックライトタイマーのシンボル
- ④ 最大(MAX)／最小(MIN)圧力およびテア(TARE)マーク
- ⑤ サブメッセージ(英数字): 5桁
- ⑥ 電池残量表示: 4セグメント
- ⑦ 負圧インジケータ

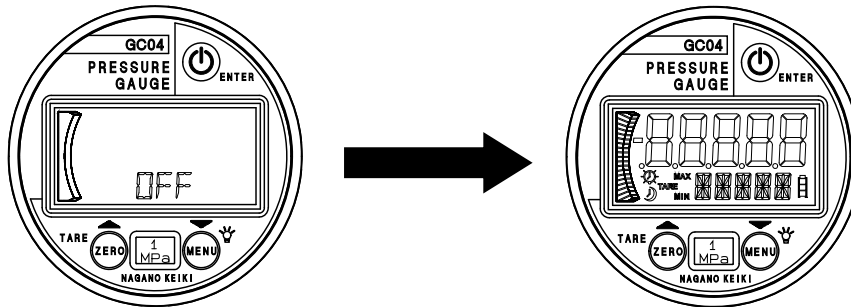


5-4. 各モードと使用方法

電源のオン/オフ

電源をON/OFFする場合は、キー(→)を押します。

電源を入れると、ディスプレイの全てのLCDセグメントが点灯し、製品バージョンと圧力レンジが順次表示されます。その後、本器は自動的に測定モードに入ります。

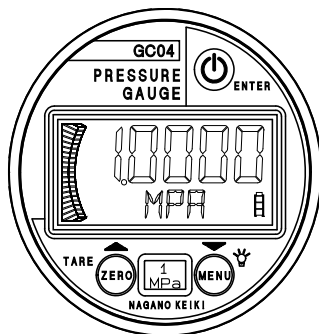


測定モード

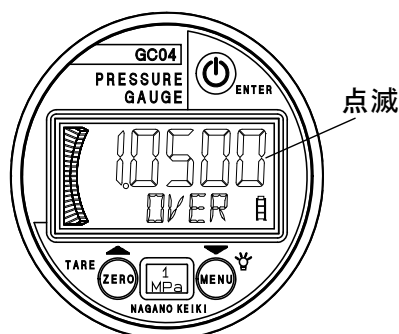
測定モードでは、測定された圧力値と、それに合わせたバーグラフ及び測定単位が常に表示されます。また、製品の圧力レンジを超えると次のように表示が変化します。

- (1) 圧力レンジの 100%F.S.～105%F.S.未満 → 通常通り表示
- (2) 圧力レンジの 105%F.S.～110%F.S.未満 → ディスプレイ下部単位表示が「OVER」に変わり、圧力値は点滅します。
- (3) 圧力レンジの 110%F.S.以上 → ディスプレイ下部単位表示は「OVER」のままですが、点滅を始めます。圧力値は点滅し続けます。

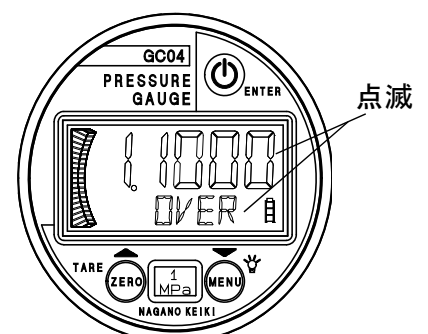
(1) 100～105%F.S.



(2) 105～110%F.S.



(3) 110%F.S.～



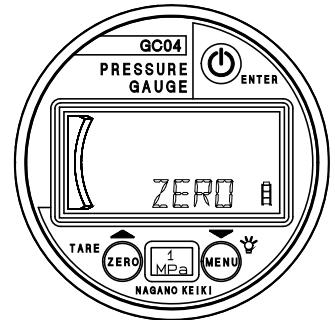
※1 110%F.S.を超えた圧力を加えた場合でも、圧力値は表示されますが正確ではありません。

また、加圧し続けると、ある時点で圧力値は変化しなくなりますが、故障の原因となりますのでそのような状態での使用は絶対に行なわないで下さい。

※2 圧力レンジを超えてご使用された場合、製品精度については保証いたしません。

ゼロ点調整機能

測定モードで圧力導入口を大気開放とし、**ZERO**キー(⇐→)を押してください。離すと一時消灯しサブメッセージに「ZERO」と表示します。この操作により圧力表示のゼロ点調整が行われた後、測定モードに戻ります。



注意

- 本器のゼロ点調整範囲は工場出荷値から±5%F.S.です。その範囲外は「RLOCK」の表示をしてゼロ調は行えません。
- 「ZLOCK」という表示は、ゼロ点調整ロック機能が有効になっていることを示しています。

風袋引きオートゼロ機能(テア機能)

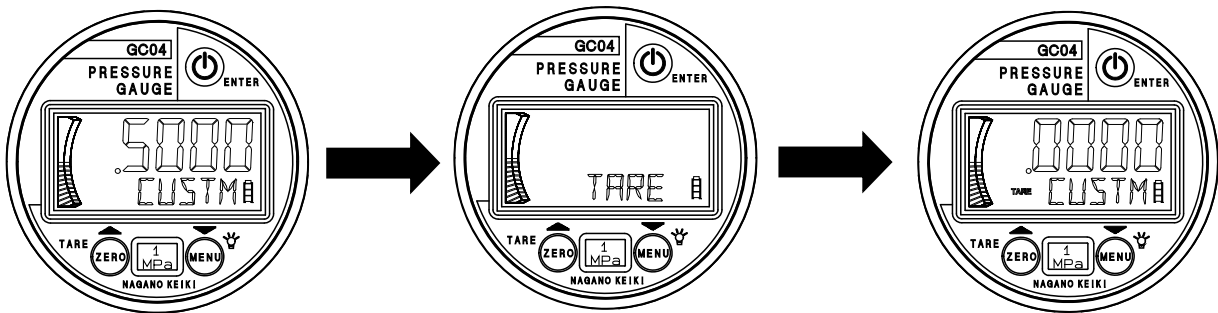
荷重計測の運用を想定した機能です。荷重の表示は「表示スケーリング機能」をご使用ください。測定された圧力から、テア機能へ移行した時の圧力(風袋値)を減算した値が表示されます。本機能は「CUSTM」、「MPa」、「bar」、「psi」、「kg f/cm²」で使用してください。(SI単位以外の使用は計量法に定められた用途としてください。)

● 減算値(風袋値)の設定

測定モードで減算したい圧力を加えた状態で、**ZERO**キー(⇐→)を押して、テア機能を有効にします。このときの圧力が減算値に設定されます。サブメッセージに「TARE」が点滅した後、「TARE」マークが表示され、圧力表示が0になり点滅します。

● 機能の解除

もう一度**ZERO**キー(⇐→)を押すと、この機能を解除することができます。サブメッセージに「T OFF」が点滅した後、「TARE」マークが消え、圧力表示の点滅は停止します。本体は測定モードに戻ります。



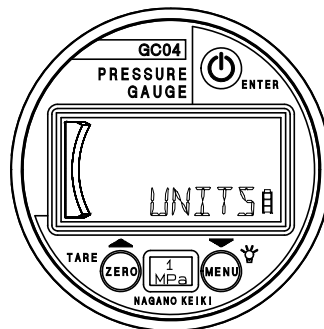
各種設定変更

メニューモード

1. **MENU**キー(⏏)を押します。離すと、メニューモードに入ります。
2. メニューモードに入ったら、設定を行いたい項目まで、**▲▼**キー(⏏)を押します。
3. 希望する項目が表示されたら、**⏏**キー(⏏)を押して、変更モードにします。
4. メニューモード(または変更モード)で設定を変更せずに終了したい場合は、**MENU**キー(⏏)を押し続けてください。設定した内容は保存されません。

測定単位の変更

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「UNITS」と表示されるまで、**▲▼**キー(⏏)キーを押します。
2. **⏏**キー(⏏)を押します。
3. 希望する単位がサブメッセージに表示されるまで、**▲▼**キー(⏏)を押して選択します。
4. **⏏**キー(⏏)を押すと単位が設定され、測定モードに戻ります。この時、測定モードではサブメッセージに設定した単位が表示されます。



注意

「psi」、「kg f/cm²」などの SI 単位以外の測定単位は計量法に定められた用途(輸出用等)に限り、ご使用ください。




注意

選択単位内の「CUSTM」は、表示スケーリングを示します。
表示スケーリング機能の設定については、14ページを参照してください。

表示スケーリング機能(カスタム測定単位)

表示スケーリング機能はゲージ圧力レンジに対してのみ設定することができます。圧力レンジのゼロ～スパン点(0～100%F.S.)に対応する圧力を0～設定したフルスケール値として表示します。表示スケーリングの設定は、以下の手順に従って実行してください。


1. メニューモードに入り、サブメッセージに「CUSTU」と表示されるまで、キー(⇅)を押します。


2. キー(⏻)を押します。

3. 小数点位置を選択します。

サブメッセージに「SELDP」と表示されます。表示スケーリング機能が設定されていない場合、圧力表示の全ての桁に5が点灯し、右側に小数点(5555.5)が点滅します。

表示スケーリング機能がすでに設定されている場合は、数字や小数点位置が設定された値で表示されます。

キー(⇅)を押すと、小数点を左右に移動できます。


キー(⏻)を押して位置を確定し、離すとサブメッセージに「DIGIT」と表示されます。


4. フルスケール値を選択します。


サブメッセージに「DIGIT」と表示されます。



圧力表示の全ての桁に「5」が表示され、左端の桁が点滅し、小数点は予め指定された位置に表示されます。


表示スケーリング機能が設定されている場合は、設定値が表示されます。小数点は、ステップ3で指定した位置に表示されます。

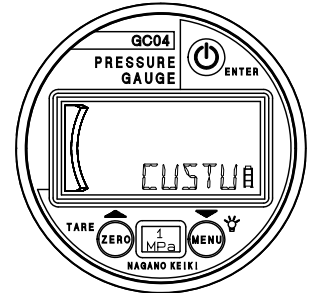
キー(⇅)を押すと、0～9の間で桁の値を変更することができます。

希望する値が表示されたら、キー(⏻)を押して確定します。確定すると右隣の桁が点滅します。

5桁全てにこの手順を繰り返します。5桁目で確定のためキー(⏻)を押すと、サブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。機能が有効になっていることを示すため、サブメッセージに「CUSTM」と表示されます。

キー(⏻)を押して設定を確定する前にキー(⇨)を押すと、操作を終了させることができます。

ステップ3を完了する前にキー(⇨)を押してメニューモードを終了させた場合や、タイムアウト(約1分)によりメニューモードから出た場合、入力した設定値は保存されません。







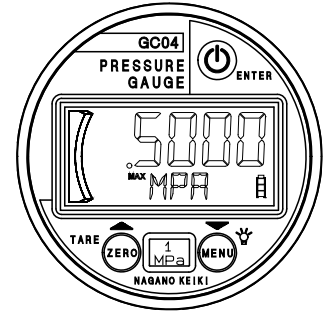
注意

- 表示スケーリング機能は、連成圧力レンジの製品では使用できません。
- 表示スケーリング機能が使用される場合、カスタムグラフは使用できません。
- 表示スケーリング機能使用時に入力された値の大きさによっては、表示のふらつきを著しく増加させる可能性があります。これにより、ゼロ点調整機能およびテア機能、さらに圧力表示の安定性を損なう可能性があります。

ピークホールド機能(最大値/最小値)

ピークホールド機能はそれまでの測定圧力の最大と最小を記録する機能です。記録された圧力値は、メニューモードのMAX及びMIN選択時に表示されます。記録された圧力値は、本器の電源がオンになったとき、または圧力値をクリアする操作を行った場合初期化されます。圧力値をクリアする操作は以下の手順によります。

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「MAX」(または、「MIN」)と表示されるまで、キー(⇄)を押します。
表示マークは、サブメッセージの左側に小さく表示されます。
2. キー(⇨)を押し続けると、最大値および最小値の両方がクリアされます。
3. キーを離しても、メニューモードのままの状態です。キー(⇨)を押し続けると測定モードに戻ります。









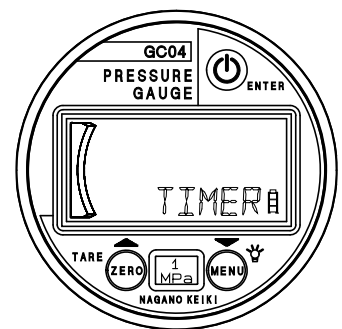
注意

- 最大値/最小値をクリアすると、関連するMIN/MAXマークやバッテリーマークを除いて空白表示されます。
- 電源オフ、ゼロ点調整機能、テア機能、再キャリブレーション、測定単位の変更、表示周期、またはリセットなどの操作を行うと、最大値/最小値はクリアされません。


タイマー(スリープ)

無操作時に、自動で電源がオフになるまでの時間を設定します。

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「TIMER」と表示されるまで、キー(⇄)を押します。
2. キー(⇨)を押します。
3. キー(⇄)を押して、設定値をスクロールします。
「NONE」を設定すると、電源キーがもう一度押されるまで電源をONの状態に保持します。
「NONE」以外の値(1min[工場出荷時]/5min/20min)は、電源がオフになるまでの時間です。
4. キー(⇨)を押して値を設定すると、マークがディスプレイに表示されます。サブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。



特長

計器がシャットダウンする前にマークが10秒間点滅します。

バックライト

測定モードまたはメニューモードで、いずれかのキーを押すとバックライトが点灯します。

この項目では、バックライトの点灯や消灯するまでの時間を設定します。


(※消灯するまでの時間は、点灯中にキー操作をするとリセットされます)

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「LIGHT」と表示されるまで、キー(⇅)を押します。

2. キー(⏻)を押します。

3. キー(⇅)を押して、設定を選択します。

「ON」: 動作中常にバックライトが点灯状態になります。

「PRESS」: バックライト キー(⏺)を押すたび、点灯/消灯が切り替わります。


「OFF」: 常にバックライトが点灯しません。

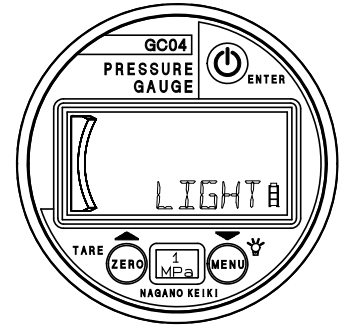
「1MIN」(工場出荷時): 1 分間無操作で消灯します。

「5MIN」: 5 分間無操作で消灯します。

「20MIN」: 20 分間無操作で消灯します。

※1~20MIN のタイマー設定時は、点灯中 マークがディスプレイに表示されます。

4. キー(⏻)を押してバックライトを設定するとサブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。




特長

バックライトが消灯する前に、マークが10秒間点滅します。

表示周期

圧力値の表示周期を変更することができます。

圧力が急激に変化したとき、または表示値にふらつきが発生するような場合、この機能を使用します。インターバルを長くすると、更新速度が遅くなり、圧力変化が激しい用途では読み取り値が平均化されます。

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「UPDAT」と表示されるまで、キー(⇅)を押します。


2. キー(⏻)を押します。

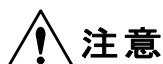
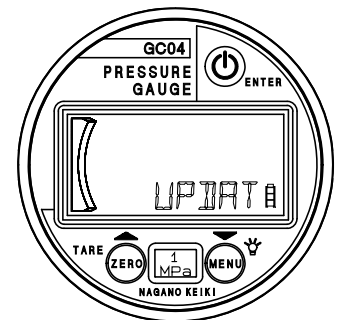
3. キー(⇅)を押して、設定を選択します。

「1SEC」(工場出荷時): 1秒周期

「500MS」: 0. 5秒周期

「250MS」: 0. 25秒周期







4. キー(⏻)を押して値を設定すると、サブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。

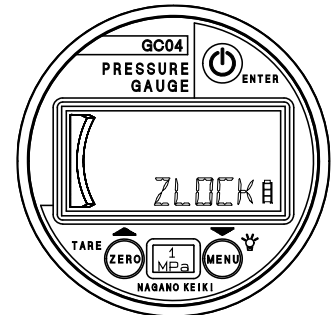


値を1秒以外に変更すると、わずかなゼロオフセットを発生させる可能性がありますので、表示のふらつきが安定してから、再度ゼロ調整を行うことをお勧めします。また、更新速度を「1SEC」(1秒)より高速にすると電池寿命は短くなります。

ゼロ点調整ロック機能

不用意に再度ゼロ点調整をされないようにするための機能です。

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「ZLOCK」と表示されるまで、  キー(⇅)を押します。
2.  キー(⏻)を押します。
3.   キー(⇅)を押して、「L ON」または「L OFF」(工場出荷時)を選択します。
4.  キー(⏻)を押して値を設定すると、サブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。



注意

ゼロ点調整ロック機能が有効になっているときにゼロ点調整を行うと、サブメッセージに「ZLOCK」と表示され、ゼロ点調整は行われません。

再校正





本器を校正するためには、より高精度の基準器、圧力印加装置を必要としますので、校正をご希望の際は、弊社へお問い合わせください。

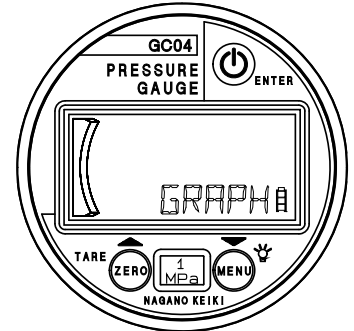
メニューモード内に再校正を意味する「RECAL」表示が表われますが、当モードに入らないようご注意ください。


再校正モード内には、内部パラメータ情報を変更する項目も存在し、該当項目を変更してしまうと本器の動作や精度に影響が出る場合があります。

カスタムグラフ









バーグラフの表示に対応する圧力値を、最小値／最大値を設定することで変更できます。

1. メニューモードに入り、サブメッセージに「GRAPH」と表示されるまで、キー(⇄)を押します。
2. キー(⇄)を押します。
3. キー(⇄)を押して、「CG OFF」(カスタムグラフオフ)(デフォルト)、「CG ON」(カスタムグラフオン)、または「NEW CG」(新規カスタムグラフ)のいずれかを選択します。
4. 「CG ON」と表示されているときにキー(⇄)を押すと、設定されているカスタムグラフを呼び出します。サブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。



「CG OFF」と表示されているときにキー(⇄)を押すと、バーグラフは通常のフルスケール範囲に設定されます。サブメッセージに「DONE」と表示され、測定モードに戻ります。

「NEW CG」と表示されているときにキー(⇄)を押すと、新しいカスタムグラフを設定することができます。

5. 最小値を設定します。
 圧力表示右側に「00」が表示され最小桁が点滅します。また、バーグラフ最下部のセグメントも点滅し、サブメッセージに「PCTFS」と表示されます。
 入力値はグラフの下限として使用されるフルスケール(%F.S.)の割合を示します。
キー(⇄)を押して0～9から設定値を選択し、キー(⇄)を押して設定します。
 左側の桁が点滅しますので、キー(⇄)を押して0～9から設定値を選択し、キー(⇄)を押して設定します。
 設定値は0～99の範囲で変更できます。
6. 最大値を設定します。
 圧力表示右側に「100」が表示され最小桁が点滅します。また、バーグラフ最上部のセグメントも点滅し、サブメッセージに「PCTFS」と表示されます。
 入力値はグラフの上限として使用されるフルスケール(%F.S.)の割合を示します。
キー(⇄)を押して0～9から設定値を選択し、キー(⇄)を押して設定します。
 左側の2桁が点滅しますので、キー(⇄)を押して0～10から設定値を選択し、キー(⇄)を押して設定します。
 設定値は0～100の範囲で変更できます。
 (※最大値は、100が最高値となります。100以上を設定しようとしたり、設定値が最小値 \geq 最大値の状態を設定しようすると「REJECT」と点滅し、設定されません。しばらくするとステップ4に戻ります。)





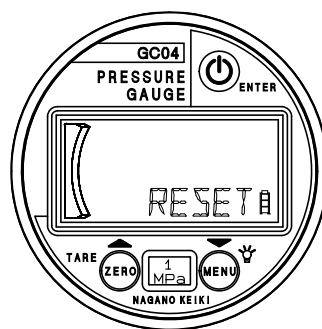
注意

- カスタムグラフ機能は、連成圧力レンジの製品では使用できません。
- サブメッセージに「UNLOCK」と表示される場合、表示スケーリング機能が使用されているため、カスタムグラフが設定できないことを示しています。

リセット

本体を工場出荷時の設定値に戻します。

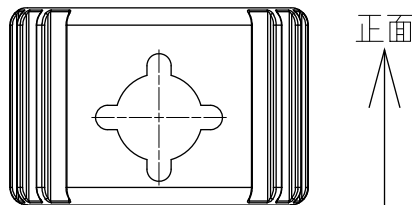
1. メニューモードに入り、「RESET」と表示されるまで、キー(⇅)を押します。
2. キー(⏻)を押します。
3. 工場出荷時の初期値には単位、タイマー、バックライト、表示周期、ゼロ点調整ロック機能などがあります。リセットを実行すると、サブメッセージに「DONE」が表示され、本器の電源は「OFF」に切り替わります。



5-5.オプション

保護ブーツ

- 種類
黒: GC04-901
オレンジ: GC04-902
- 取り付け方法
保護ブーツの向きは、下図のように側面の穴から端までの距離が長い方向が本体正面に対応します。以下手順に従って取り付けを行ってください。
 1. 本体と保護ブーツの向きを合わせて、保護用ブーツの側面の穴に内側から本体のツギテを差し込みます。
 2. ツギテの六角が保護ブーツの外に出た状態で、保護用ブーツを本体上部まで押し上げて本体手前までかぶせます。
 3. 本体側面を覆うように保護ブーツを押し込みます。
 4. 内側に潜り込んだ保護ブーツのふちを広げて、本体が保護ブーツ内に納まるようにします。
- 取り外し方法
 1. 本体を後ろから押し込むようにして保護ブーツを引き出します。
 2. 保護ブーツを本体側面から取り出した状態から、保護ブーツに差し込まれているツギテを取り出します



参考

- 使用方法

Ashcroft DG25 HP : <http://www.ashcroft.com/Videos/dg25-operating-programming-instructions.cfm>

この取扱説明書の記載内容は、改良等により予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
その他、お問い合わせは、最寄りの弊社営業所または下記フリーコールをご利用ください。

 **長野計器**

コールセンター: 0120(10)8790

ホームページ: <http://www.naganokeiki.co.jp>

本社

〒143-8544 東京都大田区東馬込一丁目30番4号

Tel: 03-3776-5311 Fax: 03-3776-5320